

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書 記載方法

様式第1（第3条関係）（表面）

①
 特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ 設置 ~~（使用、変更）~~ 届出書
 〇〇〇〇年〇月〇日 ②

横浜市長

③
 届出者 株式会社●●●●
 代表取締役 横浜 太郎
 ④

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社●●●● 横浜工場 ⑤	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	横浜市中区港町〇-〇 ⑥	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類の	No. 65、71の2 ⑦	※施設番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ⑧	※審査結果	
第5条第1項関係	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙 のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙 のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙 のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙 のとおり。	
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙 のとおり。		

- ①届出する施設及び理由以外に二重取り消し線を引きます。
 有害物質貯蔵指定施設の変更届の例：
 特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ 設置 ~~（使用、変更）~~ 届出書
 - ②届出の提出日を記入します。（西暦でも和暦でも構いません。）
 （設置届・変更届にあつては、第9条の規定により届出提出から60日間は工事の着手ができません。そのため、工事着手予定年月日から60日前までに提出してください。）
 - ③届出者に法人の住所・名称・代表者の役職及び氏名を記入します。
 （法人の場合、原則代表者となります。）
 - ④届出の条項及び施設以外に二重取り消し線を引きます。
 第5条第3項の例：
 法第5条第1項、第2項又は第3項 ~~（第6条……7条）~~ の
 第7条の例：法第5条…… ~~（第6条第1項又は第2項、第7条）~~ の
 - ⑤事業場の名称を記入します。
 - ⑥事業場の所在地を記入します。
- ▲ 届出の規定が第5条第3項の設置届又は第5条第3項関係の第7条の変更届の場合は、次の⑦、⑧は記入せず、第5条第2項関係のように第5条第1項関係に斜線を引き、次のページに進んでください。
- ⑦届出対象の特定施設の種類のを記入します。
 （[水質汚濁防止法施行令別表第1の特定施設番号又は指定地域特定施設](#)を記入してください。）
 なお、第7条の変更届において、対象となる特定施設がない場合は、事業場のすべての特定施設の種類のを記入してください。
 - ⑧届出対象の特定施設が有害物質使用特定施設であれば、有に、そうで無ければ、無にを入れます。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設 ①	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

①届け出る施設のいずれかに☑を入れます。

⚠届出の規定が第5条第1項の設置届又は第5条第1項関係の第7条の変更届の場合は、①は記入せず、第5条第3項関係に斜線を引いてください。

※第5条第3項関係の施設の使用届にあつて、平成24年6月1日時点で現に使用している場合は、第6条ではなく、附則第3条となるため、本様式ではありません。詳細については、お問い合わせください。

※第5条第1項と第5条第3項の違いとは・・・

○第5条第1項

下水道の未告示区域や分流区域で公共用水域（海域、河川やそれらに流れ込む水路等）に排水（雨水も含む）を排出する事業場が特定施設を設置しようとするとき

○第5条第3項

- ・有害物質貯蔵指定施設を設置しようとするとき
- ・公共用水域に排水を排出しない事業場（汚水・雨水ともにすべての排水を水再生センター（下水処理場）へ排出する事業場）が有害物質使用特定施設を設置しようとするとき

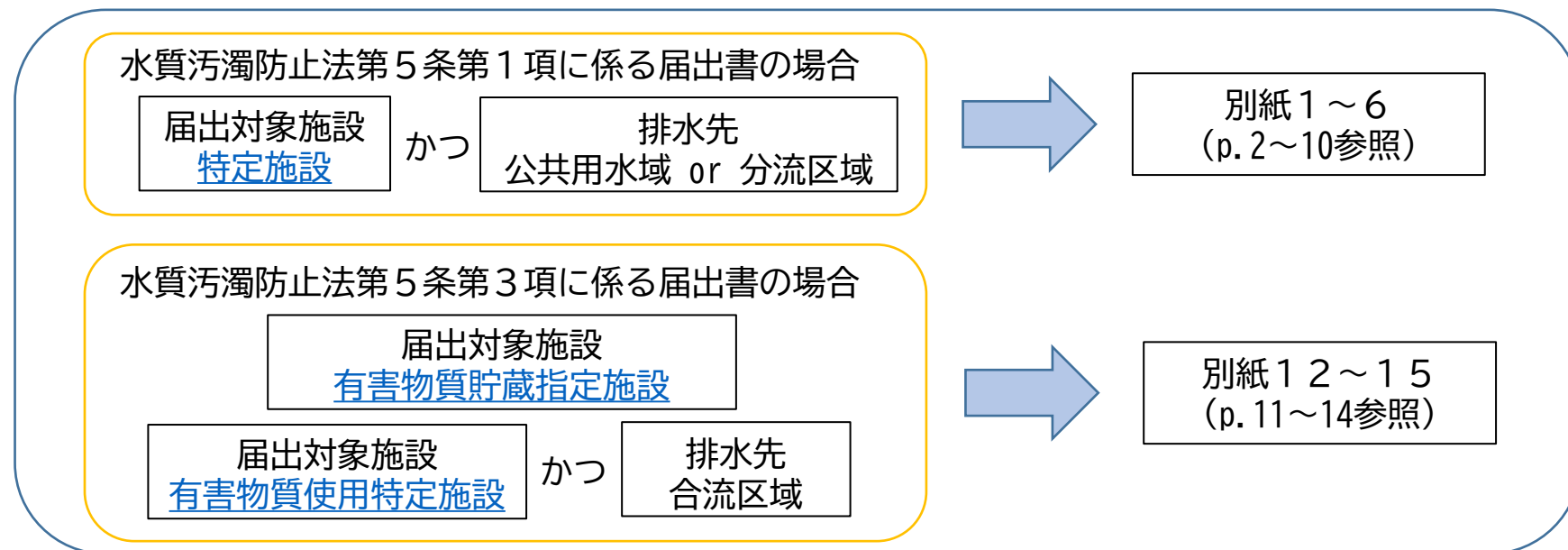
※有害物質使用特定施設とは・・・

[水質汚濁防止法施行令第1条別表第1に掲げられている施設](#)において、[同令第2条に掲げられている物質](#)を製造・使用・処理する場合

「別紙」記入時の注意事項

届出の対象施設や排水先をもとに必要な別紙を判断してください。
その後、次ページ以降の各別紙の記載方法や記載例を参考に書類を作成してください。
p. 15以降は共通の添付書類となっていますので、ご確認ください。

どの別紙が必要か？



⚠ 排水先の確認は・・・

[横浜市行政地図情報提供システム](#)の「だいちゃんマップ」の「公共下水道共用開始区域図」で確認してください。

「公共用水域」：河川、海域などの公共の用に供される水域及びこれに接続する水路

「分流区域」：汚水と雨水を別々の管路で流す区域（雨水は河川や海域へ、汚水は水再生センターへ）

「合流区域」：汚水と雨水を一つの管路で流す区域（雨水も汚水も水再生センターへ）

⚠ 分流区域は、別紙1～6（別紙1の2と別紙5を除く。）や添付書類が下水道法の届出書と共通で使用できます。

別紙1 特定施設の構造

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	N-1-1~12 N-2~4-1~13 流し台	S-1~4 スクラパー	合併浄化槽 (250人槽) ①
特定施設号番号及び名称	No.71の2 (イ) 洗浄施設	No.71の2 (イ) 洗浄施設	指定地域特定施設 ②
型 式	〇〇社製 〇-〇	〇〇社製 〇-〇	〇〇社製 〇-〇 ③
構 造	ステンレス製 (添付資料〇)	FRP製 (添付資料〇)	FRP製 (添付資料〇) ④
主 要 寸 法	〇(W)×〇(D)×〇(H) mm	〇(W)×〇(D)×〇(H)m m	〇(W)×〇(D)×〇(H)m m ⑤
能 力	〇L/min	〇m ³ /min 循環タンク容量: 〇m ³	〇m ³ /日 (250人槽) ⑥
配 置	別図〇のとおり	別図〇のとおり	別図〇のとおり ⑦
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 ⑧
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日 ⑨
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日 ⑩
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日 ⑪
その他参考となるべき事項	床面はコンクリート上に耐薬品性塗装(長尺塩ビシート)	・床面はコンクリート製 ・ステンレス製防液堤(〇m ²)	⑫

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
 2 水質汚濁防止法に基づく届出において、その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。
 3 下水道法に基づく届出において、特定施設の種別とは水質汚濁防止法施行令(昭和四十六年政令第百八十八号)別表第一及びダイオキシン類特別措置法施行令(平成十一年政令第四百三十三号)別表第二に掲げる号番号及び施設の名称を記載すること。

- ①事業場内における施設番号などを記入してください。
- ②届出対象となる特定施設の番号、名称を記入してください。
- ③メーカー名と型番を記入してください。
 なお、オーダーメイドの場合は運転方式等を記入してください。
- ④主要な材質を記入してください。
 例：ステンレス製、塩ビ製
- ⑤施設の外回り寸法を記入してください。
- ⑥製品等を製造能力について、1日当たりや時間あたり等、単位あたりの能力を記入してください。
 例：〇kg/日、〇台/回、容量〇m³
- ⑦当該施設及びこれに関連する主要機械・主要装置の配置を記入してください。
 記入が難しい場合は、添付書類として図面を添付してください。
- ⑧使用届の際に、施設を設置していた日を記入してください。
- ⑨工事を着手する日を記入してください。
 原則として届出日から60日以後の日付となります。
- ⑩工事が完了する日を記入してください。
- ⑪施設の使用を開始する日を記入してください。
- ⑫有害物質使用特定施設に該当する場合、地下浸透を防止するための床面及び周囲の材質、構造等を記入してください。

別紙1の2 特定施設の設備

水質汚濁防止法のみ

別紙1の2

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	N-1-1~12 N-2~4-1~13 流し台	S-1~4 スクラパー	①
特定施設番号及び名称	No. 71の2 (イ) 洗浄施設	No. 71の2 (イ) 洗浄施設	②
設備	該当なし	排水溝等 (地上配管・フランジ)	③
構造		VP製	④
主要寸法		配管：φ25mm×5m フランジ：直径125×45mm	⑤
配置		別図〇のとおり	⑥
設置年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日 ⑦
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	年 月 日 ⑧
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	年 月 日 ⑨
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	年 月 日 ⑩
その他参考となるべき事項	廃液は2次洗浄水まで回収して産廃処理 (〇か月に1回)	・強度、耐薬性あり ・配管は地上に敷設し、容易に目視で点検可能。	⑪

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

⚠ 「別紙1の2」は届出対象施設が有害物質使用特定施設でない場合は、記入・提出しなくて構いません。

- ①事業場内における施設番号などを記入してください。
- ②届出対象となる特定施設の番号、名称を記入してください。
- ③有害物質使用特定施設に付帯する設備をすべて記入してください。

付帯する設備とは・・・
有害物質使用特定施設本体に付帯する配管や排水溝等のことです。
例：配管、排水溝、フランジ、ポンプなど

配管等の該当する設備がない場合や設備に有害物質を含む水が流れない場合は、「該当なし」と記入してください。

- ④主要な材質を記入してください。
例：ステンレス製、塩ビ製
- ⑤設備の外回り寸法を記入してください。
- ⑥設備が設置されている場所を記入してください。設置場所が地上にあるのか地下にあるのかが分かるように記入してください。
- ⑦使用届の際に、施設を設置していた日を記入してください。
- ⑧工事を着手する日を記入してください。
原則として届出日から60日以後の日付となります。
- ⑨工事が完了する日を記入してください。
- ⑩設備の使用を開始する日を記入してください。

⑪設備の耐性等について記入してください。
該当する設備がない場合は廃液の処理方法「廃液は業者回収」、設備に有害物質を含む水が流れない場合はその理由「2次洗浄水まで回収」などと記入してください。

別紙2 特定施設の使用の方法

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	N-1~1~12 N-2~4-1~13 流し台		S-1~4 スクラパー		合併浄化槽 (250人槽)		
特定施設号番号及び名称	No.71の2 (イ) 洗浄施設		No.71の2 (イ) 洗浄施設		指定地域特定施設		
設置場所	別図〇のとおり		別図〇のとおり		別図〇のとおり		
操業の系統	器具洗浄		排ガス→洗浄→排水 →廃液タンク		手洗い・トイレ→ 浄化槽→排水		
使用時間間隔	9時~18時		9時~18時		連続		
1日当たりの使用時間	8時間		8時間		8時間		
使用の季節的変動	無		無		無		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	添付資料〇 使用薬品リストのとおり		上水: 〇m ³ 〇NaOH: 〇L 〇NHCl: 〇L 処理対象有害物質: F, N-3		消毒剤: 〇g		
汚水等の汚染状態/当該特定施設から排出される汚水の水質	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	pH	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8
	BOD[mg/L]					15	<25
	COD[mg/L]	1	3			15	<25
	SS[mg/L]					10	<20
	n-hex[mg/L]					<1	<5
	大腸菌群数 [個/cm ³]					20	<3,000
	T-N[mg/L]	0.5	1.0			5	<15
	T-P[mg/L]	0.05	0.10			0.3	<1
	Pb[mg/L]	<0.005	<0.005				
	トリクロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002				
	F[mg/L]	<0.2	<0.2	<0.2	0.3		
	N-3[mg/L]			<0.7	1.0		
NH3-N[mg/L]	<0.7	<0.7					
NO3-N[mg/L]	<0.2	<0.2					
NO2-N[mg/L]	<0.2	<0.2					
汚水等の量/当該特定施設から排出される汚水の量(m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	10	15	1	2	100	120	
その他参考となるべき事項	・使用に関する管理要領有り ・2次洗浄水まで回収するため、有害物質を含む水は排出されない。 ・有機塩素系の有害物質を使用する際は、ステンレスバット上で作業を行う。		使用に関する管理要領有り				

備考 汚水等の汚染状態/当該特定施設から排出される汚水の水質の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項/当該特定事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。

①事業場内における施設番号などを記入してください。

②設置する特定施設の番号、名称を記入してください。

③当該施設の設置場所を記入してください。
記入が難しい場合は、添付書類として図面を添付してください。

④特定施設を含む操業の系統について、フローシート形式で記載してください。この欄に書ききれない場合は、別資料としてください。

⑤1日のうち使用する時間帯を記入してください。

⑦隔日等の場合はその内容を記入してください。

⑧1日当たりの使用時間を記入してください。

⑦季節変動がある場合はその内容を記載してください。
例：4月~5月 多い

⑧特定施設を含む作業工程において使用する原材料の種類、使用方法、1日当たりの使用量を記入してください。使用する原材料が製品名等で含有する物質が分からない場合は、SDSの添付してください。

⑨特定施設から排出される汚水の想定される水質を記入してください。使用する薬品や処理する物質等から推定して、汚水中に含まれる可能性のある規制項目を記入をお願いします。想定水質については、使用物質の濃度から計算する方法やメーカーによる実績値等から推定する方法が考えられます。

⑩特定施設から排出される汚水の量（通常時と最大時について）を記入してください。

⑪有害物質使用特定施設に該当する場合、有害物質を使用する際の管理要領があることを記入してください。

別紙3 汚水等の処理の方法

水質汚濁防止法・下水道法共通


別紙3

汚水等の処理の方法/汚水の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	中和処理装置								①		
処理施設の設置場所	別図〇のとおり								②		
設置年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日	③	
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日				年				月	日	④
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日				年				月	日	⑤
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日				年				月	日	⑥
種類及び型式	〇〇社製 〇-〇								⑦		
構造	鉄筋コンクリート製								⑧		
主要寸法	〇(W)×〇(D)×〇(H)mm								⑨		
能力	30m ³ /日								⑩		
処理の方式	中和								⑪		
処理の系統	別図〇のとおり								⑫		
集水及び導水の方法	別図〇のとおり								⑬		
使用時間間隔	9時~18時								⑭		
1日当たりの使用時間	9時間								⑮		
使用の季節変動	無								⑯		
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	〇%H2SO4 : 〇g、〇%NaOH : 〇g								⑰		
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大		⑱	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後		
	pH	6~8	6~8	6~8	6~8						
	量(m ³ /日)	10	10	15	15						
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	無								⑲		
排出水の排出方法 / 汚水を公共下水道又は流域下水道へ排除する方法	No.1排水口から海域へ排出								⑳		
その他参考となるべき事項											

備考 1 汚水等の汚染状態/汚水の水質の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項/当該特定事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。
2 排出水の排出方法/汚水を公共下水道又は流域下水道へ排除する方法の欄には、排水口/排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

- ①事業場内における処理施設番号と名称を記入してください。
- ②当該施設の設置場所を記入してください。
記入が難しい場合は、添付書類として図面を添付してください。
- ③使用届の際に、施設を設置していた日を記入してください。
- ④工事を着手する日を記入してください。
- ⑤工事が完了する日を記入してください。
- ⑥排水処理施設の使用を開始する日を記入してください。
- ⑦メーカー名と型番を記入してください。
なお、オーダーメイドの場合は運転方式等を記入してください。
- ⑧主要な材質を記入してください。
例：コンクリート製、ステンレス製、塩ビ製
- ⑨施設の外回り寸法を記入してください。
- ⑩1日・時間あたりの汚水等の処理能力を記入してください。
例：〇m³/日、〇m³/時間
- ⑪排水処理の方法・方式を記入してください。
例：中和、凝集沈殿、活性汚泥法、油水分離、加圧浮上、砂ろ過
- ⑫汚水等の処理施設の処理の系統について、フローシート形式で記載してください。この欄に記入できない場合は、別資料としてください。
- ⑬処理施設までの集水・導水方法を記入してください。
この欄に記入できない場合は、別資料としてください。
- ⑭1日のうち使用する時間帯を記入してください。
隔日等の場合はその内容を記入してください。
- ⑮1日当たりの使用時間を記入してください。
- ⑯季節変動がある場合はその内容を記載してください。
例：4月~5月 少ない
- ⑰処理施設で使用する消耗資材の種類、1日当たりの使用量を記入してください。
- ⑱処理施設における処理前後の水質を記入してください。
- ⑲処理施設に流入する汚水の量、排出される処理水の量を記入してください。
- ⑳排水の排出方法（どの排水口からどの水域に排出するのか）を記入してください。

 排水処理施設の構造図、設計計画書、性能保証値等のメーカー資料を添付してください。

別紙4 排出水の汚染状態及び量

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙4


排出水の汚染状態及び量

／公共下水道又は流域下水道に排除される下水の量及び水質

工場又は事業場における施設番号／公共下水道への排出口	No.1排水口		No.2排水口		No.3排水口 ①	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排出水の汚染状態 ／ 下水の水質	種類・項目					
	pH	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8
	BOD[mg/L]			15	<25	
	COD[mg/L]					
	SS[mg/L]			10	<20	
	n-hex[mg/L]			<1	<5	
	大腸菌群数 [個/cm3]			20	<3,000	
	T-N[mg/L]			5	<15	
T-P[mg/L]			0.3	<1		
排出水の量／下水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	10	15	100	120	5	5 ③
その他参考となるべき事項	・工程系排水はNo.1排水口から、海域（東京湾）に排出 ・生活系排水はNo.2排水口から、海域以外（〇川）に排出 ・No.3排水口からは間接冷却水のみを海域以外（〇川）に排出					④

備考 排出水の汚染状態／下水の水質の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項／当該特定事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。

- ①事業場にある排水口すべてについて、排水口の番号・名称を記入してください。
- ②各排水口における排水の水質を記入してください。なお、排水中に含まれる可能性のある規制項目をすべて記入してください。この欄に記入した項目について、年1回以上の自主測定義務が発生します。
- ③各排水口に排出される通常時と最大時の排水量を記入してください。
- ④各排水口からの排出先を記入してください。海域の場合は、東京湾かそれ以外がわかるようにしてください。海域以外の場合は、河川名を記入してください。下水道へ放流する場合は、その方式も含めて記入してください。（分流式下水道・合流式下水道へ放流など）

 水量は届出内で水収支の整合性をとってください。

別紙5 (化学的酸素要求量)

水質汚濁防止法のみ

別紙5

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)						汚濁負荷量 (kg/日)		※
	通常	最大	通常	最大	指定項目の別			通常	最大		
					COD ①						
231000 試験研究機関 ②	1	3	10	15	0	0	15	0.0	0.0		
222090 し尿浄化槽 ③	15	25	100	120	0	0	120	1.5	3.0	④	
合計			110	135	0	0	135	1.5	3.0	⑤	
種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)						
	通常	最大	通常	最大	通常	最大					
⑦ 間接冷却水	0	0	5	5	0	0	⑩				
合計			5	5	0	0					
その他べき参考事項	総量規制基準値: 3.9kg/日 (15m ³ /日×20 (C _{c,j} 値) ×0.001+120m ³ /日×30 (C _{c,j} 値) ×0.001) ⑪										

備考 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 5 ※印の欄には記載しないこと。

⚠ 「別紙5」は排水水を東京湾（東京湾流域の河川も含む）に排出する事業場で、かつ排水量が50m³/日以上である場合、項目別（COD・T-N・T-P）に記入してください。

- ①指定項目（COD・T-N・T-P）を記入してください。
- ②「[水質汚濁防止法による化学的酸素要求量に係る総量規制基準](#)」別表掲げる番号及び業種その他区分の名称を記入してください。
- ③各区分ごとの特定排水水の汚染状態を記入してください。
- ④各区分ごとの特定排水水の量を記入してください。
排水量は小数第1位を繰り上げ、整数にしてください。
例：10.1 → 11m³/日
- ⑤各区分ごとの特定排水水の量を時期区分ごとに記入してください。
- ⑥各区分ごとに汚濁負荷量を算出して記入してください。
算出方法：Omg/L×Om³/日×0.001
小数第2位を四捨五入してください。
- ⑦特定排水水以外の排水水（汚濁負荷量が増加しない水）を記入してください。
例：間接冷却水、雨水
- ⑧特定排水水以外の排水水ごとに汚染状態を記入してください。
- ⑨特定排水水以外の排水水ごとに排水量を記入してください。
- ⑩特定排水水以外の排水水ごとに汚濁負荷量を算出して記入してください。（算定方法は⑥を参照。）
- ⑪総量規制基準値を別表の業種その他区分のC値から算出してください。
C値×

時期区分

C ₀	C _i	C _j
～昭和55年6月30日	昭和55年7月1日～ 平成3年6月30日	平成3年7月1日～

別紙5 (全窒素)

水質汚濁防止法のみ

別紙5

排出水の排水系統別の汚染状態及び量

業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)				汚濁負荷量 (kg/日)		※	
	通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常		最大
特定排出水	231000 試験研究機関 ②	0.5 1.0	10 15	0 15	0 15	0 15	0.0 0.0	0.0 0.0	⑥	
	222080 し尿浄化槽	5 15	100 120	0 120	0 120	0 120	0.5 1.8	0.5 1.8		
合計			110 135	0 135	0 135	0 135	0.5 1.8	0.5 1.8		
特定排出水以外の排出水	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
										種類及び用途
⑦	間接冷却水	0 0	5 5	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	⑩	
合計			5 5	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0		
その他べき参考事項	総量規制基準値：2.0kg/日 (15m ³ /日×10 (Cni値) ×0.001+120m ³ /日×15 (Cni値) ×0.001) ⑪									

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 りん含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

⚠ 「別紙5」は排水を東京湾（東京湾流域の河川も含む）に排出する事業場で、かつ排水量が50m³/日以上である場合、項目別（COD・T-N・T-P）に記入してください。

- ①指定項目（COD・T-N・T-P）を記入してください。
- ②「水質汚濁防止法による窒素含有量に係る総量規制基準」別表掲げる番号及び業種その他区分の名称を記入してください。
- ③各区分ごとの特定排出水の汚染状態を記入してください。
- ④各区分ごとの特定排出水の量を記入してください。
排水量は小数第1位を繰り上げ、整数にしてください。
例：10.1 → 11m³/日
- ⑤各区分ごとの特定排出水の量を時期区分ごとに記入してください。
- ⑥各区分ごとに汚濁負荷量を算出して記入してください。
算出方法：Omg/L×Om³/日×0.001
小数第2位を四捨五入してください。
- ⑦特定排出水以外の排水（汚濁負荷量が増加しない水）を記入してください。
例：間接冷却水、雨水
- ⑧特定排出水以外の排水ごとに汚染状態を記入してください。
- ⑨特定排出水以外の排水ごとに排水量を記入してください。
- ⑩特定排出水以外の排水ごとに汚濁負荷量を算出して記入してください。（算定方法は⑥を参照。）
- ⑪総量規制基準値を別表の業種その他区分のC値から算出してください。
C値×

時期区分

n0	ni
～平成14年9月30日	平成14年10月1日～

別紙5 (全リン)

水質汚濁防止法のみ

別紙5

排出水の排水系統別の汚染状態及び量

特定排出水	業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)			汚濁負荷量 (kg/日)		T-P ①	※		
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj			通常	最大
特定排出水	231000 試験研究機関	0.05	0.1	10	15	0	15		0.00	0.00		
	222080 し尿浄化槽	0.3	1.0	100	120	0	120		0.03	0.12		
	合 計			110	135	0	135		0.03	0.12		
特定排出水以外の排出水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)						
		通常	最大	通常	最大	通常	最大					
	間接冷却水	0	0	5	5	0	0					
	合 計			5	5	0	0					
その他べき参考事項	総量規制基準値：0.14kg/日 (15m ³ /日 × 1 (Cpi値) × 0.001 + 120m ³ /日 × 1 (Cpi値) × 0.001)									⑪		

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

⚠ 「別紙5」は排水水を東京湾（東京湾流域の河川も含む）に排出する事業場で、かつ排水量が50m³/日以上である場合、項目別（COD・T-N・T-P）に記入してください。

- ①指定項目（COD・T-N・T-P）を記入してください。
- ②「水質汚濁防止法によるりん含有量に係る総量規制基準」別表掲げる番号及び業種その他区分の名称を記入してください。
- ③各区分ごとの特定排水水の汚染状態を記入してください。
- ④各区分ごとの特定排水水の量を記入してください。
排水量は小数第1位を繰り上げ、整数にしてください。
例：10.1 → 11m³/日
- ⑤各区分ごとの特定排水水の量を時期区分ごとに記入してください。
- ⑥各区分ごとに汚濁負荷量を算出して記入してください。
算出方法：Omg/L × Om³/日 × 0.001
小数第3位を四捨五入してください。
- ⑦特定排水水以外の排水水（汚濁負荷量が増加しない水）を記入してください。
例：間接冷却水、雨水
- ⑧特定排水水以外の排水水ごとに汚染状態を記入してください。
- ⑨特定排水水以外の排水水ごとに排水量を記入してください。
- ⑩特定排水水以外の排水水ごとに汚濁負荷量を算出して記入してください。（算定方法は⑥を参照。）
- ⑪総量規制基準値を別表の業種その他区分のC値から算出してください。
C値 ×

時期区分

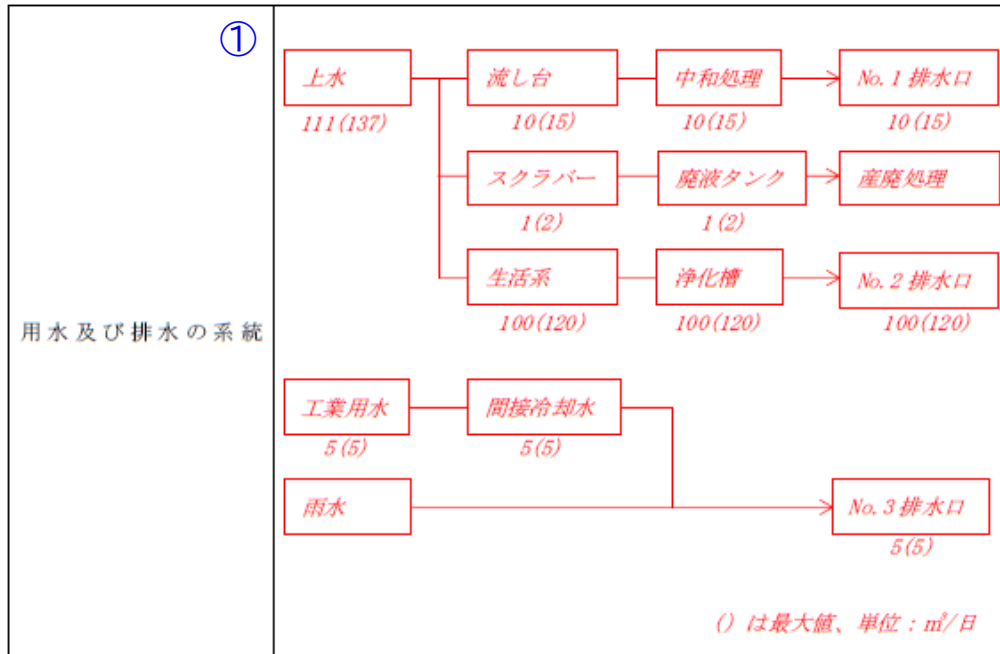
p0	pi
～平成14年9月30日	平成14年10月1日～

別紙6 用水及び排水の系統

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙6

用水及び排水の系統



用水及び排水の系統

②

用途	使用水	用水使用量(m ³ /日)
生活系	上水	100
工程系	上水	11
間接冷却水	工業用水	5

用途別用水使用量

①用排水のフローがわかる水バランスを記入してください。
この欄に記入できない場合は、別資料を添付してください。
さらに、給水経路・排水経路・雨水経路が記載した図面を添付してください。また、経路ごとに色分けし、わかりやすくしてください。

②事業場全体で使用する水の量（用水量）を、用途別・水源別に記入してください。

⚠ 水量は届出内で水収支の整合性をとってください。

別紙12 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

水質汚濁防止法のみ

別紙12

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	T-1 腐液タンク	①	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	②	
型 式	〇〇社製 〇-〇	③	
構 造	FRP製 (添付資料〇)	④	
主 要 寸 法	〇(W)×〇(D)×〇(H)m m	⑤	
能 力	〇〇m ³	⑥	
配 置	別図〇のとおり	⑦	
床 面 及 び 周 圍	・コンクリート上に耐薬品性被覆 ・防液堤 (〇m ³)	⑧	
設 置 年 月 日	年 月 日	⑨ 年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	⑩ 年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	⑪ 年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	⑫ 年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項			

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

- ①事業場内における施設番号などを記入してください。
- ②届出対象となる有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の別を記入してください。
- ③メーカー名と型番を記入してください。
なお、オーダーメイドの場合は運転方式等を記入してください。
- ④主要な材質を記入してください。
例：ステンレス製、塩ビ製
- ⑤施設の外回り寸法について記入してください。
- ⑥製品等を製造能力について、1日当たりや時間あたり等、単位あたりの能力を記入してください。
例：〇kg/日、〇台/回、容量〇m³
- ⑦当該施設及びこれに関連する主要機械・主要装置の配置を記入してください。
記入が難しい場合は、添付書類として図面を添付してください。
- ⑧地下浸透を防止するための床面及び周囲の材質、構造等を記入してください。
- ⑨使用届の際に、施設を設置していた日を記入してください。
- ⑩工事を着手する日を記入してください。
原則として届出日から60日以後の日付となります。
- ⑪工事が完了する日を記入してください。
- ⑫施設の使用を開始する日を記入してください。

別紙13 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

水質汚濁防止法のみ

別紙13

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	T-1 廃液タンク	①	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	②	
設 備	配管等 (地上配管・フランジ)	③	
構 造	VP製	④	
主 要 寸 法	配管：φ25mm×5m フランジ：直径125×45mm	⑤	
配 置	別図〇のとおり	⑥	
設 置 年 月 日	年 月 日	⑦年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	⑧年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	⑨年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	⑩年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項	・強度、耐薬性あり ・配管は地上に敷設し、容易に目視で点検可能。	⑪	

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

- ①事業場内における施設番号などを記入してください。
- ②届出対象となる有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の別を記入してください。
- ③有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設に付帯する設備をすべて記入してください。

付帯する設備とは・・・
有害物質特定施設本体に付帯する配管や排水溝等のことです。
例：配管、排水溝、フランジ、ポンプなど

配管等の該当する設備がない場合や設備に有害物質を含む水が流れない場合は、「該当なし」と記入してください。

- ④主要な材質を記入してください。
例：ステンレス製、塩ビ製
- ⑤設備の外回り寸法を記入してください。
- ⑥設備が設置されている場所を記入してください。設置場所が地上にあるのか地下にあるのかが分かるように記入してください。
- ⑦使用届の際に、施設を設置していた日を記入してください。
- ⑧工事を着手する日を記入してください。
原則として届出日から60日以後の日付となります。
- ⑨工事が完了する日を記入してください。
- ⑩設備の使用を開始する日を記入してください。

⑪設備の耐性等について記入してください。
該当する設備がない場合は廃液の処理方法「廃液は業者回収」、設備に有害物質を含む水が流れない場合はその理由「2次洗浄水まで回収」などと記入してください。

別紙14 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

水質汚濁防止法のみ

別紙14

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	T-1 廃液タンク	①	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	②	
設置場所	別図〇のとおり	③	
操業の系統	排ガス→洗浄→排水→ 廃液タンク	④	
使用時間間隔	9時～18時	⑤	
1日当たりの使用時間	8時間	⑥	
使用の季節的変動	無	⑦	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)		⑧	
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	ふっ素及びその化合物、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	⑨	
その他参考となるべき事項	使用に関する管理要領有り	⑩	

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

- ①事業場内における施設番号などを記入してください。
- ②届出対象となる有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の別を記入してください。
- ③当該施設の設置場所を記入してください。
記入が難しい場合は、添付書類として図面を添付してください。
- ④当該施設を含む操業の系統について、フローシート形式で記載してください。
この欄に記入できない場合は、別資料としてください。
- ⑤1日のうち使用する時間帯を記入してください。
隔日等の場合はその内容を記入してください。
- ⑥1日当たりの使用時間を記入してください。
- ⑦季節変動がある場合はその内容を記載してください。
例：4月～5月 多い
- ⑧有害物質使用特定施設を含む作業工程において使用する原材料の種類、使用方法、1日当たりの使用量を記入してください。使用する原材料が製品名等で含有する物質が分からない場合は、SDSの添付してください。
- ⑨有害物質貯蔵指定施設で貯蔵する水に含まれる有害物質の種類をすべて記入してください。
- ⑩有害物質を使用する際の管理要領があることを記入してください。

別紙15 用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

水質汚濁防止法のみ

別紙15

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

①

施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）

```

graph TD
    A[上水] --> B[スクラパー]
    C[排ガス] --> B
    B --> D["T-I 廃液タンク"]
    D --> E["タンクローリーで  
搬出、産廃処理"]
            
```

②

	用 途	使 用 水	用 水	用水使用量 (m ³ /日)
用途別用水使用量				

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

①【有害物質使用特定施設の場合】

有害物質に係る用排水のフローがわかる水バランスを記入してください。

この欄に記入できない場合は、別資料を添付してください。さらに、有害物質に係る給水経路・排水経路・雨水経路が記載した図面を添付してください。また、経路ごとに色分けし、わかりやすくしてください。

【有害物質貯蔵指定施設の場合】

貯蔵される有害物質に係る搬入・搬出の経路を記入してください。また、その経路を示した図面を添付してください。

②事業場全体で使用する水の量（用水量）を、用途別・水源別に記入してください。

なお、有害物質貯蔵指定施設の場合、記入不要です。



水量は届出内で水収支の整合性をとってください。

参考1 届出理由・事業場概要

水質汚濁防止法・下水道法共通

参考

1 届出理由

研究所を建設し、以下の特定施設を設置する。

- ・特定施設 No. 71 の 2 (イ) : 研究に使用する流し台 64台
- ・特定施設 No. 71 の 2 (イ) : スクラパー 4台
- ・指定地域特定施設 : 合併浄化槽 (250人槽) 1台

①

2 事業場概要

②

従業員数	000 人	業種 (細分類)	理学研究所
主要製品	00000	操業時間	0時 ~ 0時
企業規模	大企業	中小企業	零細企業
敷地面積	000 m ²	下水排除方式	合流 ・ 分流 ・ 未告示
担当部署	00課	担当者	00 00
電話番号	000-000-0000	メールアドレス@00.jp

3 工事実施制限期間の短縮の通知 (期間短縮通知書) について、電子交付の希望の有無を選択してください。なお、電子申請の場合は、電子申請のシステム画面にて選択をお願いします。

当該通知は水質汚濁防止法第5条又は第7条の届出であって、事前の届出に限ります。

③ 希望する (交付方法は次のとおり)

提出方法	交付先
書面 (郵送・来庁)	2 事業場概要欄中のメールアドレス
横浜市電子申請・届出システム	同システム上でのアップロード

希望しない

①届出を行う理由を記入してください。

②事業場の概要として、各項目を記入してください。

「業種」：「日本産業分類 細分類」から記入

「企業規模」：下表参照

「公共施設」：浄水場・下水処理場・焼却工場等の公共施設

「下水道排除方式」：p.1の排水先確認を参照

業種	大企業	中小企業		零細企業
		資本金額または出資総額	常時使用する従業員数	
①製造業・建設業・運輸業・その他の業種	右欄以外	3億円以下	300人以下	20人以下
②卸売業	右欄以外	1億円以下	100人以下	5人以下
③サービス業	右欄以外	5,000万円以下	100人以下	5人以下
④小売業	右欄以外	5,000万円以下	50人以下	5人以下

③期間短縮通知書の交付方法について、電子交付の希望の有無にをいれてください。

参考2 添付書類一覧

		水質汚濁防止法・下水道法共通	
添付書類一覧		①	
水	下	添付書類の名称	作成上の注意
✓		特定施設の構造図	縮尺・寸法を記入してください。 (別紙1の構造・主要寸法に該当)
✓		特定施設のその他参考となる図面 (カタログ、床面材質の資料等)	(別紙1の能力に該当)
✓		特定施設に関連する主要機械又は主要装置の 配置図	(別紙1の配置に該当)
✓		特定施設の設置場所(土木図面等)	床面の構造及び状況を詳細に記入してください。 (別紙2の設置場所に該当)
		操業の系統図(フローシート)	(別紙2の操業の系統に該当)
✓		汚水の処理施設の設置場所	(別紙3の処理施設の設置場所に該当)
✓		汚水の処理施設の構造図	縮尺・寸法を記入してください。 (別紙3の構造・主要寸法に該当)
✓		汚水の処理系統図	(別紙3の処理の系統に該当)
✓		汚水の処理施設のその他参考となる図面 (カタログ等)	(別紙3の処理施設の能力に該当)
✓		汚水の処理施設の設計計算書及び装置、 機械の仕様書並び取扱説明書	設計根拠とした原水及び処理水の水質、水量及 び処理方法の選定理由、安全率、最大処理能力 並びに装置、機械の仕様を記入してください。 (別紙3の処理施設の能力・処理の方式に該 当)
✓		用水、排水の系統図	給排水は、色分けしてください。 (別紙6の用水及び排水の系統に該当)
		水バランスシート	(別紙6の用水及び排水の系統に該当)
✓		事業場への案内図	—
✓		敷地内の建物及び構造物の配置図並びに公共 下水道への接続図	—
✓		特定施設一覧表	特定施設の名称・型式・設置場所・処理系統、特 定施設の種類ごとの台数などが把握できるよう にしてください。
✓	✓	有害物質の使用に関する管理要領	(別紙2及び14のその他参考となるべき事項に 該当)
✓	✓	有害物質使用特定施設等の点検記録簿	(別紙2及び14のその他参考となるべき事項に 該当)
✓	✓	有害物質使用特定施設等に係る設備の配置図	(別紙1の2及び13の配置に該当)
	✓	貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の 系統図(有害物質貯蔵指定施設に限る。)	(別紙15の搬入及び搬出の系統に該当)

注1 変更届出の場合は、図面上に変更箇所を明示してください。
注2 何枚かの図面をまとめられる場合は、まとめてください。
注3 図面は原則、A4版又はA3版とし、A3版の図面はA4版に折って提出してください。

- ①必要な添付書類の一覧です。
添付書類の確認にご使用ください。

参考3 有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設に係る構造基準等一覧

水質汚濁防止法のみ							有害物質の種類	備考※
有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設に係る構造基準等一覧								
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 (特定施設にあっては施行令第1条別表第1の号番号及び第3条の2)	工場又は事業場における施設番号	構造基準等				使用の方法		
		床面及び周囲	配管等	排水溝等	地下貯蔵施設			
No. 71の2 (イ) 洗浄施設	N-1~50	A				A	鉛及びその化合物、トリクロロエチレン、ふっ素及びその化合物、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	
No. 71の2 (イ) 洗浄施設	S-1~4	A		A		A	ふっ素及びその化合物、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	
有害物質貯蔵指定施設	T-1	A	A			A	ふっ素及びその化合物、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	

①

⚠ 「当該書類」は事業場に有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設が一切ない場合は、記入・提出しなくて構いません。

①事業場内の**すべての**有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設について、構造基準の該当する項目に各基準（A・B）を記入します。

「有害物質の種類」の欄については、略称表記でも構いません。
 例：カドミウム及びその化合物 → Cd
 アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物 → N-3

⚠ 構造基準の詳細については、[市ホームページ](#)をご覧ください。

備考 1 構造基準等にはA・Bのいずれかを記入すること。
 A基準：水質汚濁防止法施行規則第8条の3～第8条の6で定める構造基準等
 B基準：水質汚濁防止法施行規則附則第3条～第6条で定める構造基準等
 2 構造基準等の対象にならない場合は空欄又は斜線とすること。
 3 設置する又は設置しているすべての有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設を記載すること。
 4 有害物質の種類は、水質汚濁防止法施行令第2条のいずれかの物質を記載し、複数ある場合はそのすべてを記載すること。
 5 ※には記入しないこと。
 6 有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設を有しない事業場は、本様式を提出することを要しない。

参考4 特定施設（有害物質使用特定施設）、有害物質貯蔵指定施設一覧表

		水質汚濁防止法のみ								①
特定施設（有害物質使用特定施設）、有害物質貯蔵指定施設一覧表										
特定施設等	台数	71の2-イ	71の2-イ	指定地域特定施設	貯蔵指定施設					その他
		届出前	届出後							
カドミウム及びその化合物										
シアン化合物										
有機燐化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る。）										
鉛及びその化合物		○								
六価クロム化合物										
砒素及びその化合物										
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物										
ポリ塩化ビフェニル（PCB）										
トリクロロエチレン		○								
テトラクロロエチレン										
ジクロロメタン										
四塩化炭素										
1,2-ジクロロエタン										
1,1-ジクロロエチレン										
1,2-ジクロロエチレン										
1,1,1-トリクロロエタン										
1,1,2-トリクロロエタン										
1,3-ジクロロプロペン										
チウラム										
シマジン										
チオベンカルブ										
ベンゼン										
セレン及びその化合物										
ほう素及びその化合物										
ふっ素及びその化合物		○	○		○					
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		○	○		○					
塩化ビニルモノマー（クロロエチレン）										
1,4-ジオキサン										

1 特定施設等の欄には、特定施設にあっては、水質汚濁防止法施行令第1条別表第1の号番号又は指定地域特定施設を、有害物質貯蔵指定施設にあっては、有害物質貯蔵指定施設を記載すること。
 2 特定施設にあっては、製造・使用・処理している有害物質に○を、有害物質貯蔵指定施設にあっては、保管している有害物質に○を記載すること。
 3 その他の欄については、特定施設等以外において、製造・使用・処理・保管している有害物質に○を記載すること。

①事業場内のすべての特定施設等の種類、設置台数、使用等している有害物質を記入します。

※特定施設等以外で使用等している有害物質は「その他」の欄に記入してください。



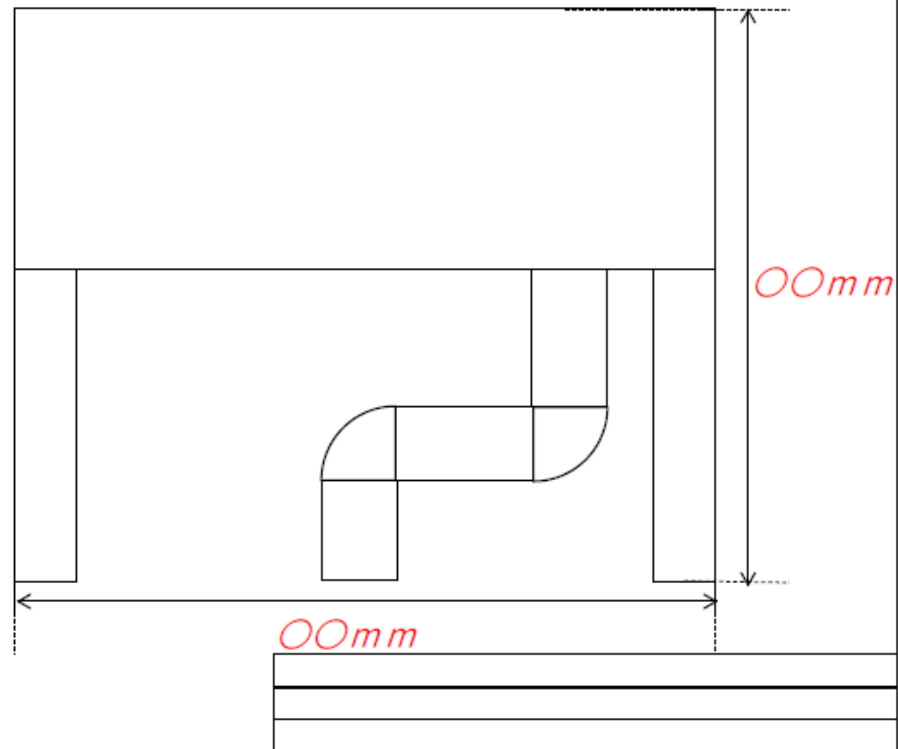
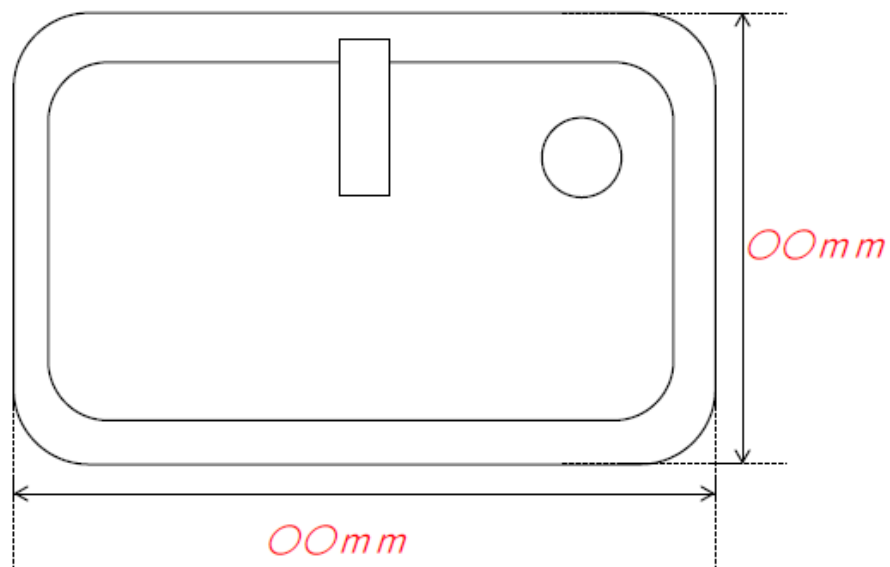
「有害物質の種類」や「台数」は届出内及び過去の届出と整合性をとってください。

添付資料〇 特定施設の構造図

①

ステンレス製 流し台 (〇〇社製 〇-〇)

N-1-1~12
N-2~4-1~13



①届出対象の特定施設・有害物質貯蔵指定施設の構造がわかる図面を添付してください。

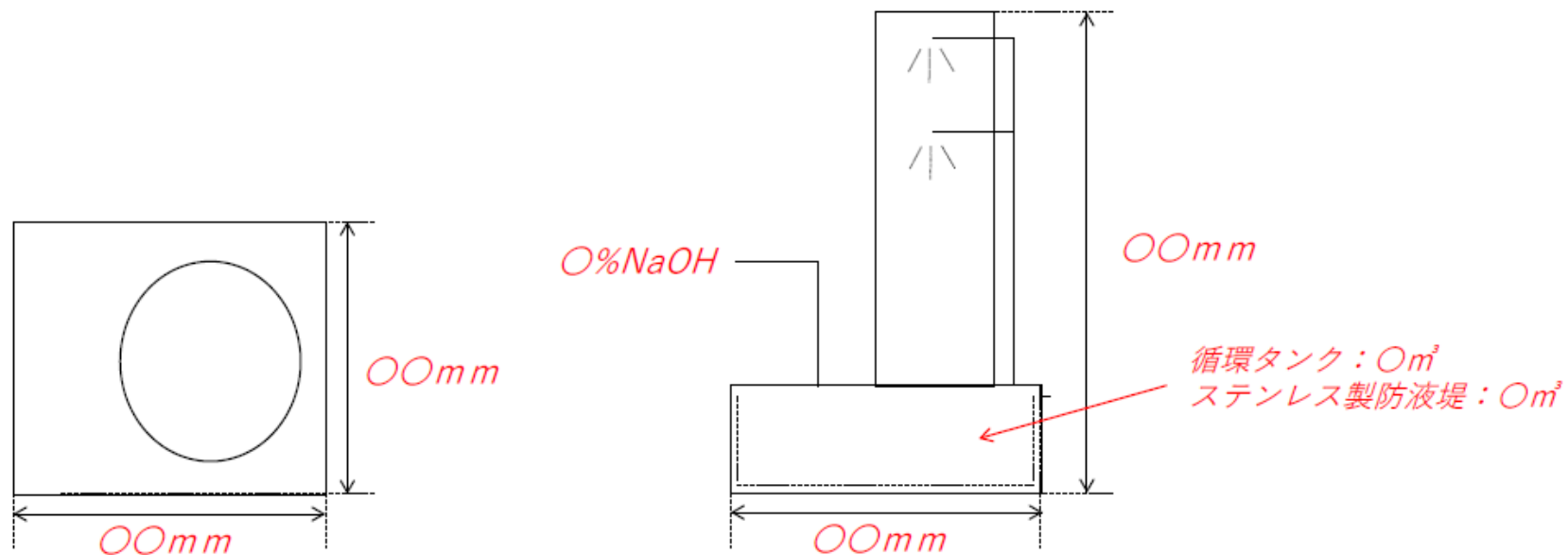
添付資料〇 特定施設の構造図

①

スクラバー (〇〇社製 〇-〇)

S-1~4

FRP製

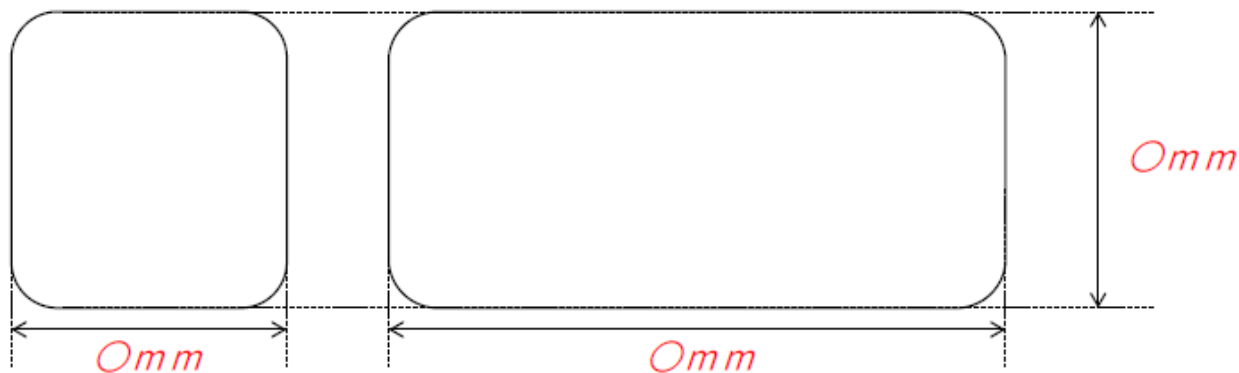


①届出対象の特定施設・有害物質貯蔵指定施設の構造がわかる図面を添付してください。

添付資料〇 指定地域特定施設の構造図

①

合併浄化槽



〇〇社製 〇-〇

認定番号：・・・・

250人槽

流量調整型嫌気濾床・担体流動生物濾過循環方式

FRP製

処理流量：120m³/日

処理水質

BOD：25mg/L

COD：30mg/L

T-N：10mg/L

T-P：1mg/L

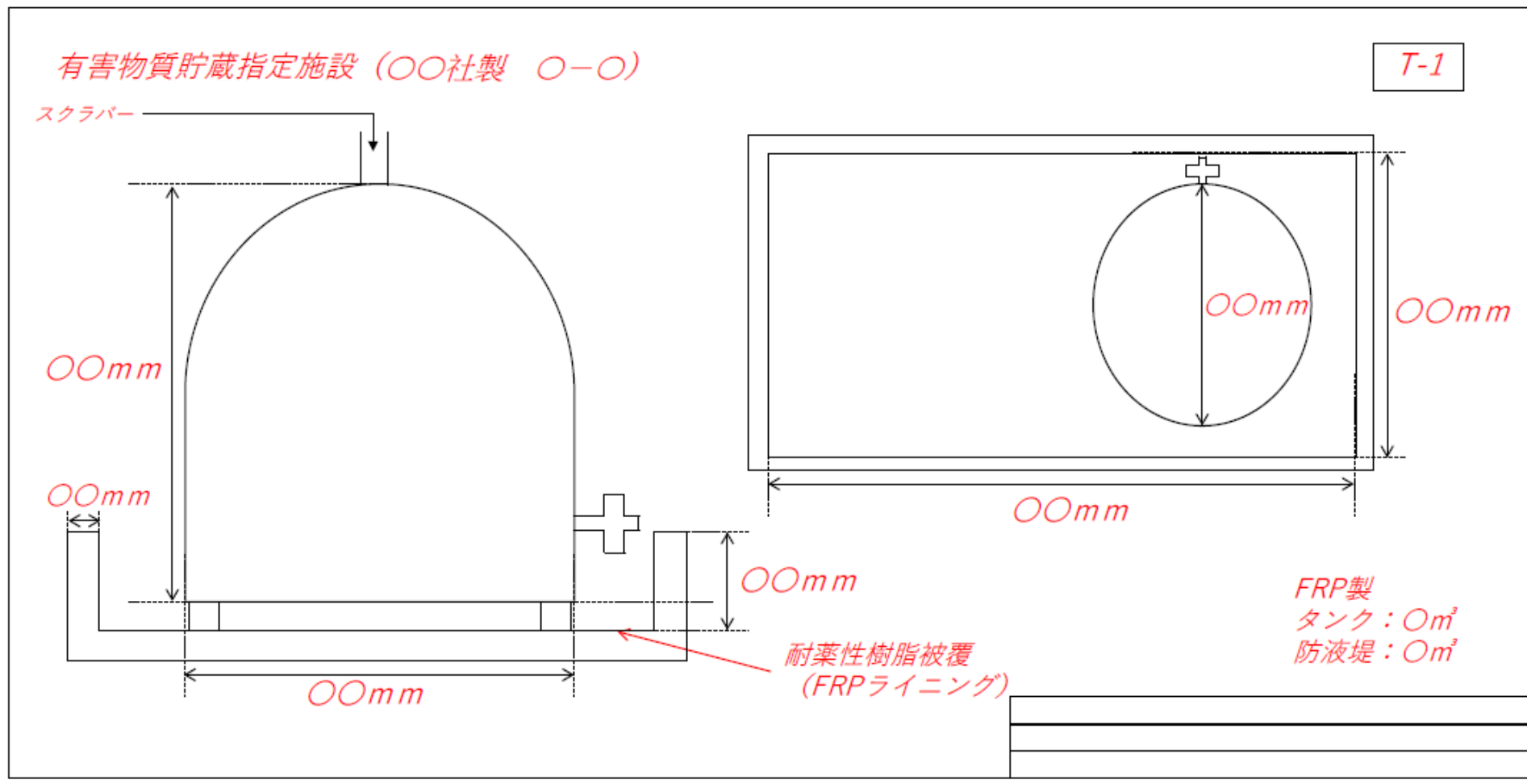
SS：10mg/L

大腸菌群数：3,000個/cm³

①届出対象の特定施設・有害物質貯蔵指定施設の構造がわかる図面を添付してください。

添付資料〇 有害物質貯蔵指定施設の構造図

①

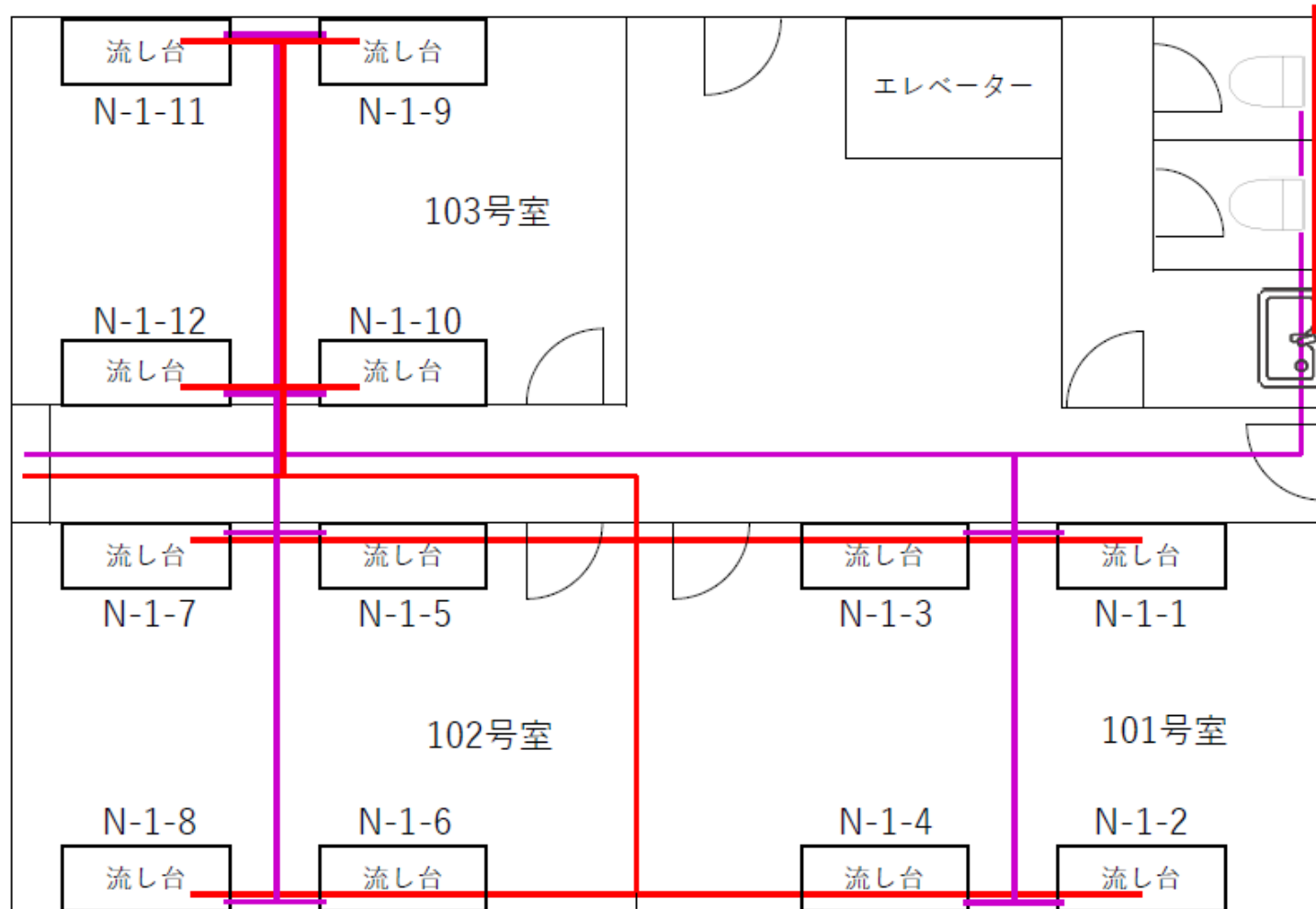


①届出対象の特定施設・有害物質貯蔵指定施設の構造がわかる図面を添付してください。

添付書類 特定施設等の設置場所、用排水の系統図

別図〇 1F

①



各試験室の床面は
耐薬品性塗装
(ハマシートEX)

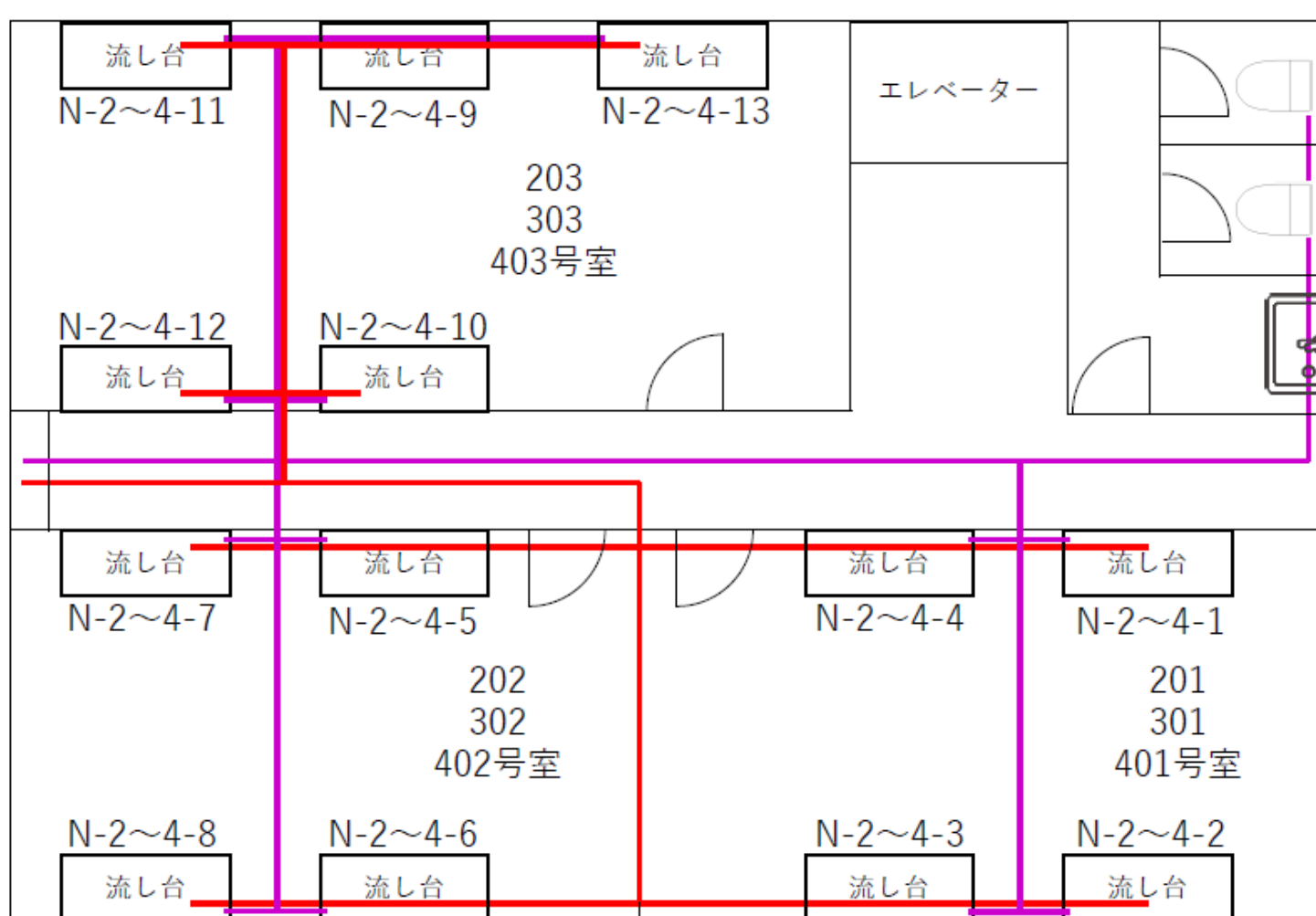
給水： ————
汚水系： ————

- ①届出対象の特定施設・有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示す図面を添付してください。
当該施設に関連する主要機械・主要装置の配置も併せて示してください。
給水・排水の系統についても、色分けするなどわかりやすく図示してください。
さらに、有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の場合、床面の構造・仕様がわかるようにしてください。

添付書類 特定施設等の設置場所、用排水の系統図

別図〇 2～4F

①

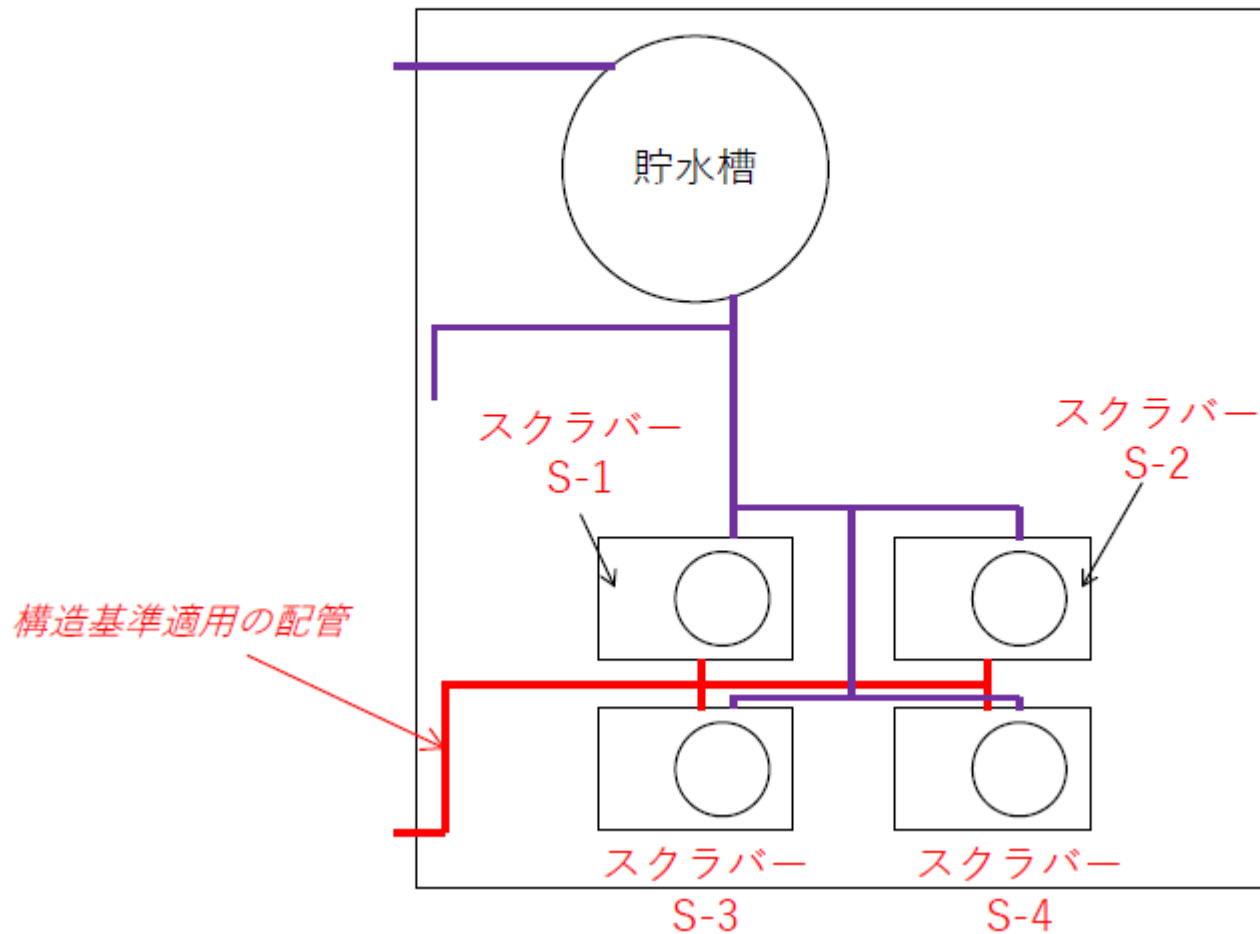
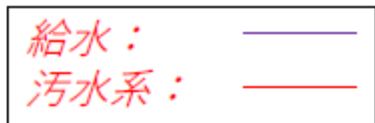


各試験室の床面は
耐薬品性塗装
(ハマシートEX)

給水： ————
汚水系： ————

- ①届出対象の特定施設・有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示す図面を添付してください。
 当該施設に関連する主要機械・主要装置の配置も併せて示してください。
 給水・排水の系統についても、色分けするなどわかりやすく図示してください。
 さらに、有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の場合、床面の構造・仕様がわかるようにしてください。

別図〇 屋上



①届出対象の特定施設・有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示す図面を添付してください。

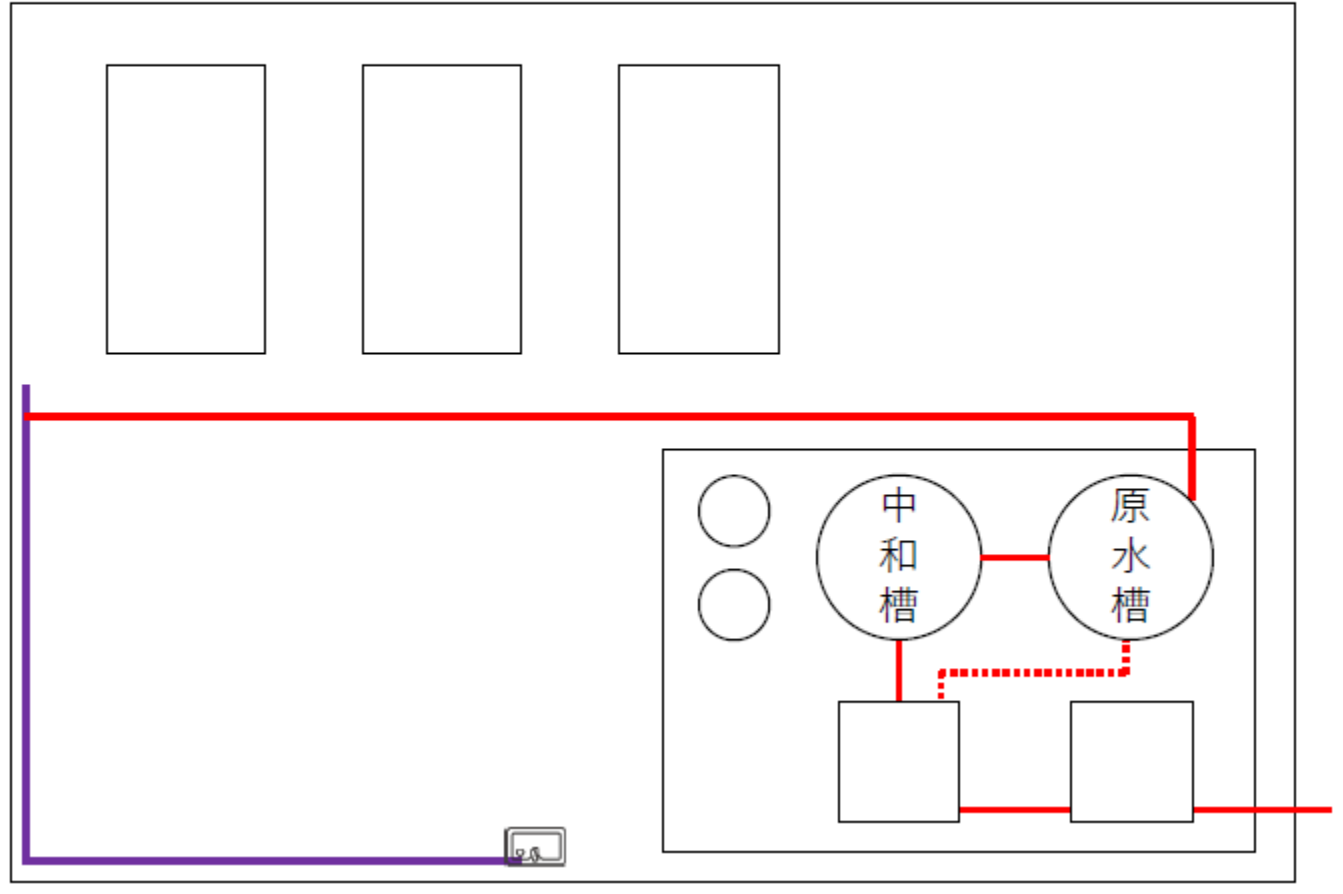
当該施設に関連する主要機械・主要装置の配置も併せて示してください。

給水・排水の系統についても、色分けするなどわかりやすく図示してください。

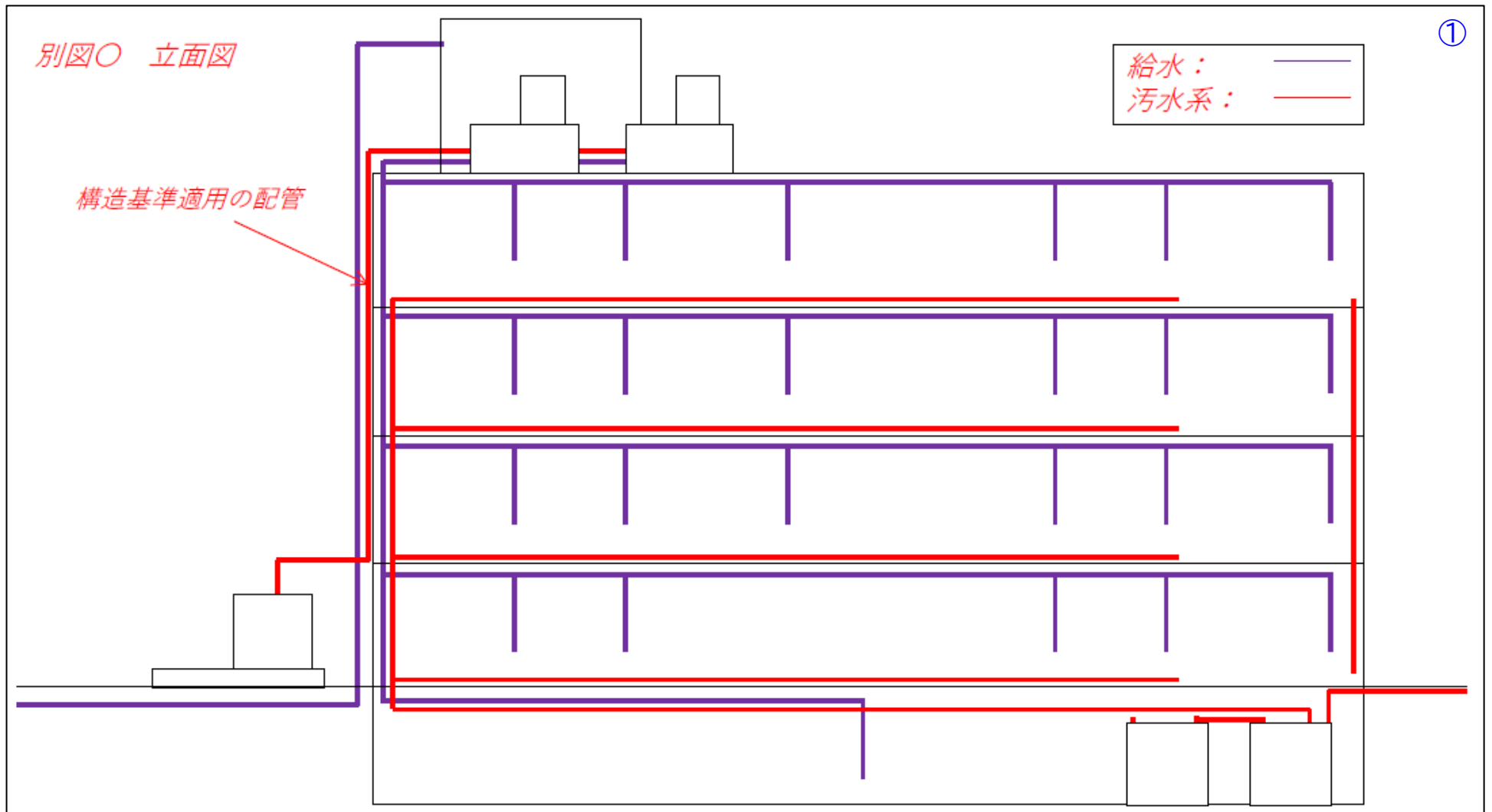
さらに、有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の場合、配管等の付帯する設備がわかるように図示してください。

別図〇 B1

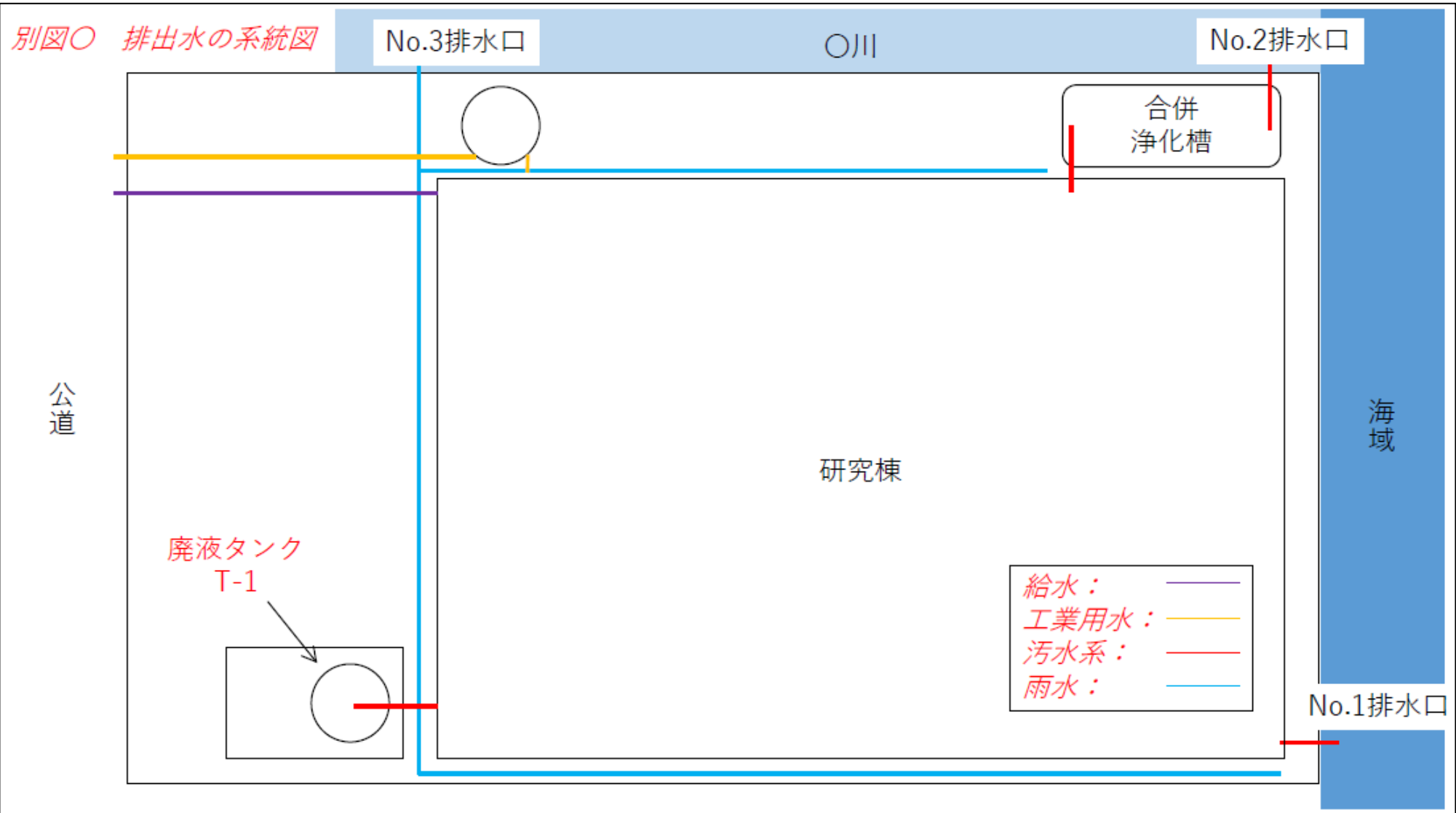
①



①排水処理施設の設置場所を示す図面を添付してください。
給水・排水の系統についても、色分けするなどわかりやすく図示してください。



①給水・排水の系統について、色分けするなどわかりやすく図示してください。



①敷地外からの給水・敷地外への排水の系統について、色分けするなどわかりやすく図示してください。
また、建屋等の配置も併せて記入してください。

添付書類 排水処理施設の仕様書

添付書類○ 排水処理施設仕様書

①

株式会社○○ 横浜工場 殿

中和処理施設

○-○

仕様書・設計計算書

○株式会社

①排水処理施設の仕様書などを添付してください。

添付書類 排水処理施設の仕様書

①

1 使用条件

- ・処理水量：〇m³/日
- ・処理水質

項目	原水	処理後水質
pH	2~11	5.8~8.6
...	〇mg/L	〇mg/L
...
...
...

2 処理装置の設計計算

中和処理

中和槽 〇〇〇〇×〇〇〇〇×〇〇〇〇mm 有効容積：〇m³

使用薬剤：〇%硫酸・〇%水酸化ナトリウム

流入量 〇m³ / 〇h ≒ 〇 m³/h

滞留時間：.....

.....

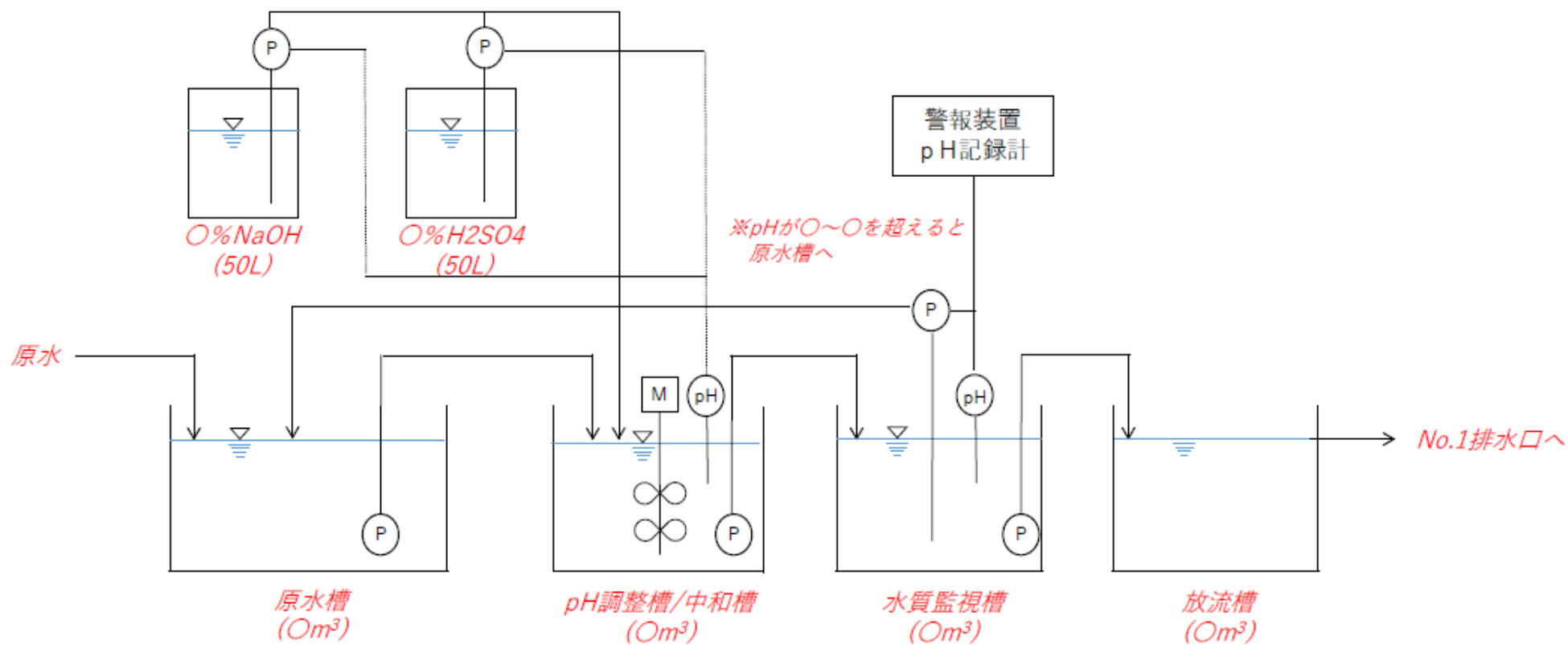
①排水処理施設の処理能力が確認できるようにしてください。。



排水処理後の水質が排水基準を満たすようにしてください。

別図〇 中和処理施設の系統図

①



①排水処理のフローや系統がわかる資料を添付してください。

添付書類 使用薬品リスト

添付資料○ 使用薬品リスト

①

薬品名	組成・成分	該当有害物質	使用部屋	備考
ABCD	PbSO4 ...	Pb	SDS 参照
硝酸	H2NO3	N-3	...	
...	
...	
...	
...	

①事業場で使用している薬品のリストを添付してください。
薬品の「成分・組成」、「該当有害物質」、「使用する特定施設等」
がわかるようにしてください。

※薬品名から成分・組成がわからない場合、SDSを添付してください。

SDSとは、安全データシート（Safety Data Sheet）の略語で、
化学物質および化学物質を含む混合物を譲渡または提供する際に、
その化学物質の物理化学的性質や危険性・有害性及び取扱いに関
する情報を化学物質等を譲渡または提供する相手方に提供するた
めの書類のこと。

添付書類 特定施設等一覧表

添付資料○ 特定施設等一覧表

①

施設番号	施設名称	特定施設番号	設置場所	使用原材料	・・・	・・・
N-1-1	流し台	No.71の2(イ)	101号室	使用薬品リスト参照 (SDS参照)	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
S-1	スクラパー	No.71の2(イ)	屋上	使用薬品リスト参照	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
J-1	合併浄化槽	指定地域特定施設	屋外	消毒剤	・・・	・・・
T-1	廃液タンク	有害物質貯蔵指定 施設	屋外	・・・	・・・	・・・

①事業場内のすべての特定施設・有害物質貯蔵指定施設がわかる一覧表を添付してください。

添付資料○ 案内図

①



①事業場への案内図を添付してください。

添付書類 有害物質使用特定施設等の使用の方法に関する管理要領

添付資料○ 有害物質使用特定施設の使用の方法（管理要領、点検表）

①

○年○月○日作成

水質汚濁防止法に基づく有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の管理要領

1 使用の方法の遵守すべき事項等と具体的な作業手順について

水質汚濁防止法施行規則第8条の7第2号で定める管理要領を下記のとおり定める。

(1)	遵守すべき事項等	有害物質を含む水の受け入れ、移し替え、分配の作業は、有害物質を含む水が飛散し、流出し、地下に浸透しないような方法で行うこと。
	具体的な作業手順	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質を含む水を扱う作業は、耐薬品性塗装の床面の屋内等で行う。 ・移し替えの作業を行う際は、下部にバットを用意する等、万が一漏えいした場合も地下浸透しない方法で行う。
(2)	遵守すべき事項等	有害物質を含む水の補給状況及び設備の作動状況の確認その他施設の運転を適切に行うために必要な措置を講ずること。
	具体的な作業手順	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運転開始前、終了後に施設からの漏えいがないことを目視により確認する。 ・有害物質を含む薬品をタンクに搬入する場合は、搬入量がタンクの残存容量を下回っていることを確認する。
(3)	遵守すべき事項等	有害物質を含む水が漏えいした場合には、ただちに漏えいを防止する措置を講ずるとともに、当該漏えいした有害物質を含む水を回収し、再利用するか、又は生活環境保全上支障のないように適切に処理すること。
	具体的な作業手順	<ul style="list-style-type: none"> ・床面に有害物質を含む水が飛散した際は迅速に拭き取り、使用したウェス等は産業廃棄物として適正に処理する。 ・漏えいが発生した場所及びその措置等を記録し、その記録は3年以上保存する。 ・再発の防止策を検討し、必要に応じて作業方法や施設の改善を実施する。

①有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設においては、使用の方法に関する管理要領を作成し、添付してください。
管理要領の作成手続きや記載例は[ホームページ](#)をご確認ください。

有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設に係る有害物質を含む水の受け入れ、移し替え、分配等の作業は、有害物質を含む水が飛散・流出・地下浸透しない方法で行うとともに、有害物質を含む水の補給状況や設備の作動状況の確認等、施設の運転を適切に行わなければなりません。

また、有害物質を含む水が漏えいした場合には、直ちに漏えいを防止する措置を講じるとともに、当該漏えいした有害物質を含む水を回収し、再利用するか又は生活環境保全上支障のないよう適切に処理しなければなりません。

事業者は使用方法、点検方法、点検回数等を記載した管理要領を作成する必要があります。

添付書類 有害物質使用特定施設等の使用の方法に関する管理要領

2 点検の内容及び頻度

①

(1) 点検の体制

点検実施者は、2(3)に定める点検方法に従い点検を実施し、その結果を点検記録簿に記録するとともに、点検実施責任者の確認を受ける。点検実施責任者及び点検実施者は以下のとおりとする。

- 点検実施責任者・・・〇〇所長
- 点検実施者・・・〇〇工程の研究員

(2) 点検記録簿の様式は別紙1のとおりとする。

(3) 点検箇所、点検方法及び回数、以下のとおりとする。

箇所	方法	方法の詳細	頻度
施設本体	目視	●施設本体のひび割れ、損傷その他の異常の有無の確認 ●施設本体からの有害物質を含む水の漏えいの有無の確認。	年1回
床面及び周囲	目視	●床面のひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無の確認。 ●防液堤のひび割れその他異常の有無の確認	年1回
接続する配管等	目視	●配管等の亀裂、損傷その他の異常の有無の確認。 ●配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無の確認。	年1回
接続する排水溝等	目視	●排水溝等のひび割れ、被覆の損傷その他異常の有無の確認。 ●排水溝等からの有害物質を含む水の漏えいの有無の確認。	年1回
地下貯蔵施設の構造等	湛水試験	●地下貯蔵施設の水の水位の変動の確認	年1回
使用の方法	担当者への聞き取り	作業手順や、設備の作動状況・適切な運転や、有害物質が漏えいした場合の手順についての確認	年1回

(4) 点検の結果、床のひび割れ等の異常が確認された場合は、補修その他の必要な措置を講じ、その内容を記録し、点検記録簿ととも保管する。

(5) 点検記録簿は、記録後3年間保存する。

①有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設においては、使用の方法に関する管理要領を作成し、添付してください。
管理要領の作成手続きや記載例は[ホームページ](#)をご確認ください。

添付書類 点検記録簿

点検記録簿

別紙1 ①

設置場所	研究棟	点検実施者	点検実施責任者
施設の名称	流し台、廃ガス洗浄施設	〇〇課 	〇〇課長 

対象となる特定施設	点検内容	点検方法	点検頻度			
流し台	本体	ひび割れ、損傷その他の異常の有無の確認	目視	年1回		
		有害物質を含む水の漏えいの有無	目視	年1回		
	床面及び周囲	床面のひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	目視	年1回		
		防液堤のひび割れその他異常の有無	目視	年1回		
廃ガス洗浄施設	本体	ひび割れ、損傷その他の異常の有無の確認	目視	年1回		
		有害物質を含む水の漏えいの有無	目視	年1回		
	床面及び周囲	床面のひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	目視	年1回		
		防液堤のひび割れその他異常の有無	目視	年1回		
	排水溝等	ひび割れ、被覆の損傷その他異常の有無	目視	年1回		
		有害物質を含む水の漏えいの有無	目視	年1回		

<異常確認時の記録>

- ①必要な点検項目等を満たした点検記録簿を添付してください。
点検記録簿の作成例は[ホームページ](#)をご確認ください。



点検記録簿は3年間保管する義務があります。

添付書類 特定施設等の床面の資料

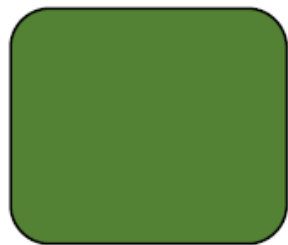
添付資料○ 有害物質使用特定施設等に係る構造基準等に関する資料
(床面の材質に関する資料)

①

ハマシート EX

「ハマシート EX」は耐薬品性のあるエポキシ樹脂系の床用塗料です。

○色見本




○耐薬品性について

以下の薬品について、耐薬品性の試験を行っております。

試験条件は.....

薬品	結果	暴露期間
塩酸	異常なし	一ヶ月
硫酸	異常なし	一ヶ月
アンモニア	異常なし	一ヶ月
〇〇	異常なし	一ヶ月
〇〇	異常なし	一ヶ月
〇〇	異常なし	一ヶ月

①有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の場合、地下浸透対策である施設の床面の構造・仕様がわかるカタログなどを添付してください。

 取り扱う有害物質に対して耐薬品性があるかをご確認ください。